

創立146周年

学校だより



は南風の子

中種子町立
南界小学校
令和元年5月20日

鹿児島県 25位 7.0% (全国平均 8.6%) ~いろいろな当たり前を~

校長 吉留 巧

今年の大型連休はどのように過ごされたでしょうか。子どもたちも思い思いの10連休を過ごしていたようです。種子島も各地に観光客が多数見受けられ、熊野のキャンプ場も盛況だったと聞きました。私も令和の時代を新たな目標を持ってがんばりたいと思います。



さて、左の交通標識は「横断歩道」があることを示す道路標識ですが、皆さんは歩行者優先を守っていますか？今、信号機のない横断歩道で車が止まらないという問題が全国で話題になっています。



2018年8月にJAFの職員が平日の日中に一か所につき50回交差点に立ち、信号機のない横断歩道で歩行者がいたら一般車が停車するかどうかを調べたそうで

信号機のない横断歩道で渡る人がいる場合の車両停止率

長野県	58.6%
静岡県	39.1%
石川県	26.9%
44位 三重県	1.4%
46位 広島県	1.0%
47位 栃木県	0.9%

す。上位3県と下位3県が左の結果です。

1位の長野県では半分以上の車が停止し、最下位の栃木県ではほとんど停止しないということになります。

我が鹿児島県は、25位で7.0%、全国平均8.6%です。この結果をどう思われますか。種子島は、何%ぐらいになるのでしょうか。

実は、このニュースを見る前に、種子島中央高校付近の信号機のない横断歩道で2人の高校生が立っていたので一時停止をしたところ、お礼のお辞儀をされて私もうれしくなったことがあり、余計このニュースが気になりました。

半分以上が停止するある長野県民の方の話です。「親は安全運転思考なので、横断歩道に歩行者がいたら止まりますし、それが隣(助手席)に座っていて小さい時から(止まるのが)当たり前だったので、今でも(止まるのが)当たり前だと思います」とありました。

私は、この「小さい時から〇〇が当たり前」という言葉を大切にしたいと思います。

15年ほど前の話ですが、私が鹿児島市内の大きな商業施設の立体駐車場で空いている駐車場を探していたところ、店の出入り口近くの障がい者や高齢者の方々向けの優先駐車場に躊躇せずに駐車した車がありました。その車からは、若い両親と小学校低学年くらいの子どもが元気よく降りて店の中へ消えていきました。その両親がいつも今回のような駐車をしていれば、その子どもにとっては優先駐車場の意識は低くなります。むしろ、学校では、優先駐車場などについて社会や総合的な学習の時間で学びますが、学ぶことで親の行動とのギャップに子どもは違和感を覚えることとなります。横断歩道での車の一時停止はマナーではなくルールですが、いろいろなマナーは家庭や地域でも教え、また実践していただければと思います。

横断歩道で待っている人がいたら一時停止が当たり前、優先駐車場は必要な人が利用するのが当たり前、地域の方に会ったら挨拶が当たり前、親切にされたらお礼をするのが当たり前、朝起きたらおはようが当たり前、小学生は勉強するのが当たり前・・・いろいろな当たり前がありそうです。

